

事業概要書

事業名 農業農村整備事業（たん水防除事業）	路線名等 うえた 植田地区
------------------------------	--

1. 事業のあらまし

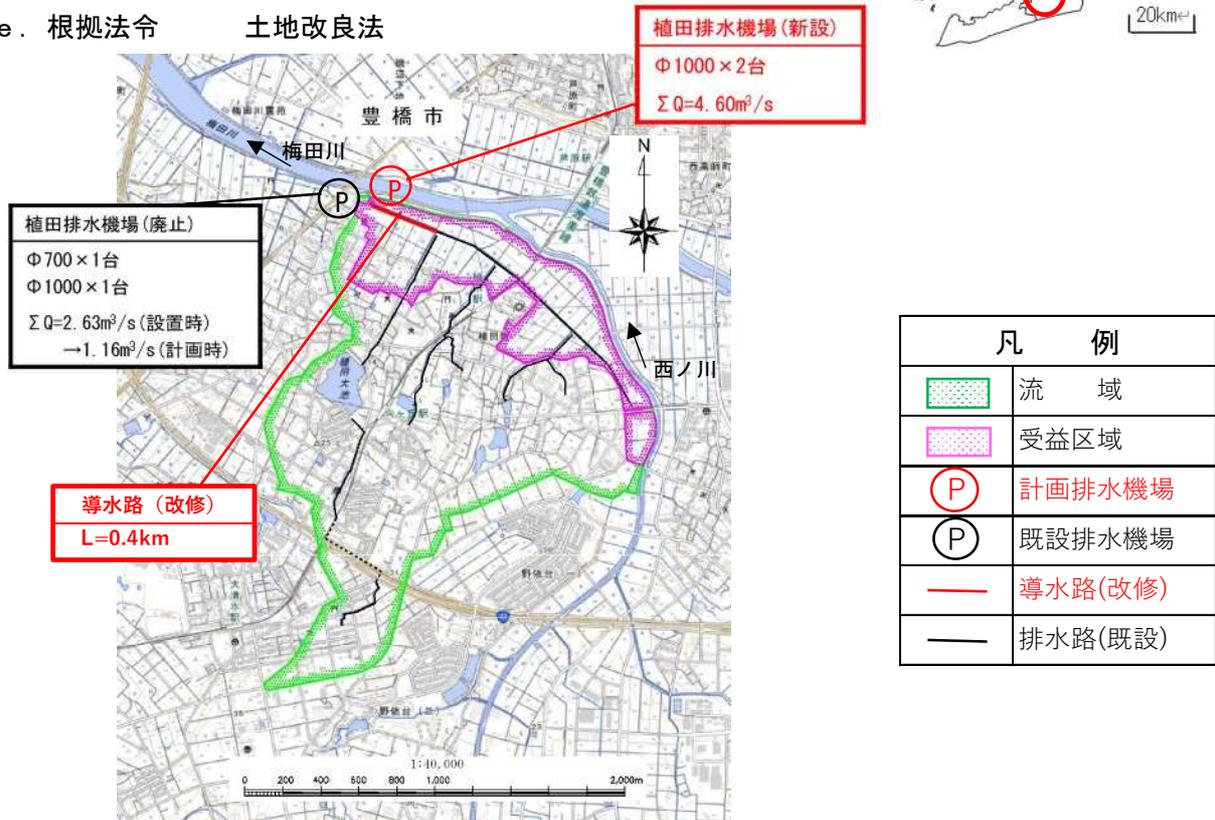
本地区は愛知県豊橋市の南部に位置し、北に二級河川梅田川、東は西ノ川に接する流域面積278.5haの排水を担う農業用排水機場を改修するものである。地区内の排水は、通常時は梅田川へ自然排水されるが、洪水時は梅田川の水位が上昇し自然排水が不可能となるため、植田排水機場により梅田川へ強制排水している。

しかし、既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下や、近年の開発の進展による降雨流出量の増加により、豪雨時にはしばしば湛水被害が生じていた。

このため、老朽化の著しい植田排水機場を改修することにより湛水被害を防止し、農業経営及び県民生活の安定を図ることを目的として、2012年度からたん水防除事業を実施し、2020年度に完了した。

2. 事業概要

- a. 事業箇所 とよはししうえたちょう
豊橋市植田町
- b. 事業内容
排水機場 1 箇所
導水路 L=0.4km
- c. 全体事業費 12.8 億円
- d. 事業期間 2012 年度～2020 年度
- e. 根拠法令 土地改良法



事後評価調書(案)

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業(たん水防除事業)																										
地区名	植田地区																										
事業箇所	豊橋市植田町																										
事業のあらまし	<p>本地区は愛知県豊橋市の南部に位置し、北に二級河川梅田川、東は西ノ川に接する流域面積278.5haの排水を担う農業用排水機場を改修するものである。地区内の排水は、通常時は梅田川へ自然排水されるが、洪水時は梅田川の水位が上昇し自然排水が不可能となるため、植田排水機場により梅田川へ強制排水している。</p> <p>しかし、既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下や、近年の開発の進展による流出量の増加により、豪雨時にはしばしば湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、老朽化の著しい植田排水機場を改修することにより湛水被害を防止し、農業経営及び県民生活の安定を図ることを目的として、2012年度からたん水防除事業を実施し、2020年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能低下した既設排水機場を改修し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止することにより、地域住民の安全・安心を確保するとともに、農業経営の安定を図る。(基準雨量 330mm/3日、1/20年確率降雨量) <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	12.8億円		■工事費 11.8億円、 ■用補費 0.4億円、 ■その他 0.6億円																								
事業期間	採択年度	2012年度	着工年度	2013年度	完成年度	2020年度																					
事業内容	排水機場 1か所 導水路 L=0.4km																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	【達成状況】																									
		<p>事業完了後、2021年7月1日～7月3日に最大3日連続降雨量336.0mm(最大1時間雨量53.0mm)を観測したが農地の湛水はなかった。また、2023年6月1日～6月3日に最大3日連続降雨量426.0mm(最大1時間雨量45.5mm)を観測し、一部の農地の湛水はあったが農作物や農業用施設、公共施設等の被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 (豊橋観測所降雨データ)</p>																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続降雨量</td> <td>330.0mm</td> <td>176.5mm</td> <td>336.0mm</td> <td>111.0mm</td> <td>426.0mm</td> <td>304.0mm</td> </tr> <tr> <td>(最大1時間雨量)</td> <td>(78.7mm)</td> <td>(43.0mm)</td> <td>(53.0mm)</td> <td>(36.5mm)</td> <td>(45.5mm)</td> <td>(49.0mm)</td> </tr> </tbody> </table>					区分	計画	2020	2021	2022	2023	2024	最大3日連続降雨量	330.0mm	176.5mm	336.0mm	111.0mm	426.0mm	304.0mm	(最大1時間雨量)	(78.7mm)	(43.0mm)	(53.0mm)	(36.5mm)	(45.5mm)	(49.0mm)
		区分	計画	2020	2021	2022	2023	2024																			
最大3日連続降雨量	330.0mm	176.5mm	336.0mm	111.0mm	426.0mm	304.0mm																					
(最大1時間雨量)	(78.7mm)	(43.0mm)	(53.0mm)	(36.5mm)	(45.5mm)	(49.0mm)																					
<p>【達成状況に対する評価】</p> <p>計画基準(330mm/3日)を大きく上回る雨量(426mm/3日)があり、一部の農地等が湛水したが、農作物や農業用施設、公共施設等の被害は発生しておらず、本事業は県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>																											

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																																								
②事業効果の発現状況		<p>【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】</p> <table border="1" data-bbox="379 405 1433 846"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>事前評価時 (2011)</th> <th>実績 (2020)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>2012～2018 (7年間)</td> <td>2012～2020 (9年間)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>12.2</td> <td>11.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>0.8</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.9</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13.9</td> <td>12.8</td> <td>1.1億円減</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">効果の 算定要因</td> <td>流域面積</td> <td>278.5 ha</td> <td>278.5 ha</td> <td>増減なし</td> </tr> <tr> <td>農地面積</td> <td>124.5 ha</td> <td>116.9 ha</td> <td>7.6ha減</td> </tr> <tr> <td>宅地等面積</td> <td>154.0 ha</td> <td>161.6 ha</td> <td>7.6ha増</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業期間に対する評価】</p> <p>導水路の改修において、沿線の建物に対する事後調査の調整・調査に不測の日数を要したため、計画時より事業期間を2年延長したが、既存の排水機場を活かし、予備排水により降雨に備えるなどの対応をしながら工事を進めたため、湛水被害等は発生しておらず、期間延長による影響はなかった。</p> <p>【事業費に対する評価】</p> <p>工事費の積算精査及び工事の入札結果（請負差額）等により、事業費が1.1億円減で事業完了できた。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】</p> <p>計画時と比較して、流域面積の増減はなく、農地面積は微減している。 排水機場の整備により湛水被害が防止されており、効果については、計画どおり発現していると評価できる。</p>	項目		事前評価時 (2011)	実績 (2020)	備考	事業期間		2012～2018 (7年間)	2012～2020 (9年間)		事業費 (億円)	工事費	12.2	11.8		用地補償費	0.8	0.4		その他	0.9	0.6		合計	13.9	12.8	1.1億円減	効果の 算定要因	流域面積	278.5 ha	278.5 ha	増減なし	農地面積	124.5 ha	116.9 ha	7.6ha減	宅地等面積	154.0 ha	161.6 ha	7.6ha増
	項目		事前評価時 (2011)	実績 (2020)	備考																																					
事業期間		2012～2018 (7年間)	2012～2020 (9年間)																																							
事業費 (億円)	工事費	12.2	11.8																																							
	用地補償費	0.8	0.4																																							
	その他	0.9	0.6																																							
	合計	13.9	12.8	1.1億円減																																						
効果の 算定要因	流域面積	278.5 ha	278.5 ha	増減なし																																						
	農地面積	124.5 ha	116.9 ha	7.6ha減																																						
	宅地等面積	154.0 ha	161.6 ha	7.6ha増																																						
③事業実施による環境の変化		<p>施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用し、既設の排水路、遊水池に生息する魚類が、工事施工箇所に入らないように注意して施工することにより、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はほとんどない。</p>																																								
III 対応方針（案）																																										
今後の事後評価の必要性	主要目標が計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。																																									
改善措置の必要性	主要目標が計画通り達成されているため、改善措置は不要である。																																									
同種事業に反映すべき事項	工事中においても湛水被害防止に配慮するため、既設機場の排水機能を活かし、予備排水により降雨に備えるなどの対応が必要であった。今後同種事業においても、排水機場管理者と調整し、こうした対応を行うことが重要である。																																									
IV 事業評価監視委員会の意見																																										
V 対応方針																																										